

令和2年度 第3回 平塚市図書館協議会 会議記録（要旨）【公開用】

開催日時	令和3年3月24日（水）13時～14時25分
開催場所	平塚市中央図書館3階ホール
出席者	<p>委員 竹之内 禎 会長 小林 利幸 副会長 鈴木 由美子 委員 掬川 舞子 委員 跡部 左恵 委員 久保田 幸子 委員</p> <p>事務局 平井 社会教育部長 小林 中央図書館長 渡辺 北図書館長 上村 西図書館長 勝山 南図書館長 菊坂 奉仕担当長 高橋 管理担当長 杉山 管理担当主査 松浦 管理担当主査 高島 管理担当主査</p>
欠席者	なし
傍聴人	6名

議 事

（1）令和3年3月市議会定例会総括質問の概要について

【事務局資料説明】

「これからの平塚市図書館運営のあり方」（素案）、「今後の図書館運営」及び「今後の図書館運営及び文化ゾーンの施設の複合化についての見解」についての総括質問と答弁要旨を事務局から説明した。

（2）「これからの平塚市図書館運営のあり方」（案）の策定について

- ・パブリックコメント実施結果について
- ・「これからの平塚市図書館運営のあり方」（案）の策定

【事務局資料説明】

令和3年2月8日から3月9日まで実施した「これからの平塚市図書館運営のあり方」（素案）に係るパブリックコメントの実施結果について、個人の方から19人59件、団体の方から3団体8件の合計67件の意見をいただいた。いただいた意見のうち6件を反映させたうえで、「これからの平塚市図書館運営のあり方」を策定する旨事務局から説明した。

【 会 長 】 36ページのコンシェルジュという用語に案内人を追記したということだが、41ページにもコンシェルジュという表記があるがこちらは追記しないのか。

【 事 務 局 】 最初に出てくる用語にのみ、追記している。

【 委 員 】 クラウドファンディングやネーミングライツ等には追記しないとのことだが、40ページの「ゾーニング」という用語もわかりづらい気がする。

【 事 務 局 】 空間を目的に応じて区分することを意味しているが伝わりづらいか。

【 副 会 長 】 図書館のイメージは、昔は静粛にすべき場所であったが、最近では、静かにする場所と会話をして良い場所などゾーンによって使い方を分ける図書館も出てきている。

【 事 務 局 】 クラウドファンディングやネーミングライツ等と同様の扱いとしているが、再度検討させていただく。

【 会 長 】	パブリックコメントの意見を細かく反映されている印象だが、パブリックコメントで出された意見などはどのような流れで公開されるのか。
【 事 務 局 】	「これからの平塚市図書館運営のあり方」の策定とあわせ、パブリックコメントで提出された意見と意見への対応について、令和3年4月下旬に公開予定である。
【 会 長 】	現時点でどのような意見が寄せられたのか差支えない範囲で教えていただくことは可能か。
【 事 務 局 】	反映したもの以外に、今後各取組を行っていくうえで参考とさせていただきたい意見をいくつか挙げると、「目標や取組に対する成果指標についての言及がほしい」「移動図書館サービスの廃止について」「予約本の受取場所の増設」「資料費の増額」などがあつた。
【 副 会 長 】	一つ目に挙げられた「目標や取組に対する成果指標についての言及がほしい」という意見についてはどのように対応していく予定か。
【 事 務 局 】	今回策定する「これからの平塚市図書館運営のあり方」は、図書館計画といったものではなく、あくまでも平塚市の図書館運営の方向性をまとめたものである。各施策の実現に向けた目標や進捗管理については、別途実施していきたいと考えている。
【 会 長 】	「移動図書館サービスの廃止」について意見が提出されたとのことだが、移動図書館サービスの廃止について、神奈川新聞やタウン紙でもとりあげられたようだが、それを受け、廃止する点について、方向転換の可能性はあるのか。
【 事 務 局 】	ご指摘のとおり、「あおぞら号廃止の方針」という見出しでの報道があつた。確かに移動図書館の現在提供しているサービスについて廃止の方針ではあるが、金目・真田地区や岡崎地区などあおぞら号の利用の多い地域では、予約資料の受取場所の増設や公民館を含む地域内の様々な施設を利用し、新しい読書環境の整備を検討していく。また、移動図書館全てのサービスを廃止するわけではないので、今回パブリックコメントの意見を受けて一部表現を変更させていただいた。今回廃止を検討しているサービスは、移動図書館あおぞら号で2週間に一度巡回するステーション方式のサービスである。現在の車両ではなくなるが、移動図書館で実施していた出前図書館や団体貸出は、資料の提供方法などやり方を整理し、継続して実施していきたいと考えている。
【 副 会 長 】	図書資料の新規の受取場所については、具体的にどこを検討しているのか。
【 事 務 局 】	令和3年度中に駅前市民窓口センターでの受取を導入したい。このほか、図書館から離れた地域では、公民館などの公共施設のほか、地域内の様々な施設を視野に入れ、検討していきたいと考えている。
【 会 長 】	「資料費の増額」についてもご意見があつたようだが、資料費の増額などは検討されるのか。
【 事 務 局 】	今回「これからの平塚市図書館運営のあり方」を策定するにあたり、平塚市図書館全体の運営面の現状・課題を洗い出した。図書館全体の運営を今後10年で整理していく中で、少しでも図書資料費を確保できればと考えている。また、この後の議事の中でも説明するが、令和3年度には電子図書館を導入する予定がある。電子書籍の普及率はどの年代でも高まっているので、今まで図書館を利用していない層にもご利用いただけるように、従来の紙媒体の資料とデジタル資料を補完し合いながら総合的に資料費を確保し、時代のニーズにあつた蔵書構成へと充実してまいりたい。

【 会 長 】	パブリックコメントではだいぶ多く意見が提出されている。それだけ市民の関心が高いというわけだが、意見書の中の副会長の言葉にもあるが、平塚市図書館の質を維持しつつ図書館運営の効率化を図り、より時代や市民のニーズにあったサービス提供を展開していただきたいと思うので、引き続きよろしくお願ひしたい。最後に、今後の予定をお聞かせいただきたい。
【 事 務 局 】	令和3年3月25日（木）の教育委員会3月定例会で、「これからの平塚市図書館運営のあり方」を策定する。その後、4月下旬にパブリックコメントの実施結果として意見数や意見の概要、意見に対する市の考え方と合わせて公表する予定となっている。
・「平塚市図書館のあり方への意見書」反映状況について	
【事務局資料説明】	
令和2年第2回図書館協議会で図書館協議会会長から中央図書館長へ提出された「平塚市図書館のあり方への意見書」への反映状況について、事務局から説明した。具体的には、電子図書館やデジタルアーカイブの導入(令和3年7月開始予定)、予約資料の受取・返却場所の増設についての検討、1階ホールの活用、VHSビデオスペースの見直し、令和3年度中に収集基準、除籍基準を公開することなどを実施する。	
【 会 長 】	早速意見書への対応をいただき、感謝申し上げます。事務局からの今の報告に対し質問などあったらお願ひしたい。
【 委 員 】	中央図書館1階ホールについては、以前からデッドスペースになっていると感じている。先ほどもあったが図書館は静かにしなければならない等制約があると思うが、1階ホールでの展示等見に来た方が本を借りて行くことにつながるかもしれないし、また本に固執せず広く活用を検討していただければ普段図書館を利用していない方も図書館に足を運ぶきっかけとなるのではないかと考える。
【 事 務 局 】	令和2年12月9日から1月31日まで、東海大学が協力した企画展示「ひらつかを旅するコーナー」を開催した。その際には、本の展示と合わせ、平塚市内のおすすめスポットを来館者にポストイットに書いてホワイトボードに貼ってもらった。今後も工夫して展示等企画していきたい。
【 委 員 】	除籍についてだが、古い本は絶版されてしまうので貴重な本もあると思うが、除籍というのは廃棄するという意味か。
【 事 務 局 】	ボロボロになって使用できないので廃棄するために除籍するものと、棚のスペースや利用状況から判断し、図書館の資料としては役割を終えたと判断し除籍するもの2通りある。まだ使用できる書籍については、その後リサイクルし市民や団体へ利用していただいている。
【 委 員 】	中央図書館1階に設置されているリサイクルコーナーを楽しみにしている方も多くいると思う。除籍後の利用については、より多くの方が利用できるよう検討していただきたい。
【 会 長 】	展示ケースを寄付金で購入したと説明があったが、どういう経緯で寄付があったのか。
【 事 務 局 】	個人名などはご本人の意向からお伝えはできないが、平塚市にゆかりのある方からの寄付があった。
【 副 会 長 】	令和3年7月から電子図書館の導入予定との説明があったが、県内でも導入している自治体は少ない中、注目したい取組である。ターゲットとして、図書

	館に来館しづらい高齢者や障がいをお持ちの方以外にも中高生を挙げているのは素晴らしいと考える。しかし、予算には限りがあると思うので、中高生に対しどのようにアピールしていくのか、また中高生にとって魅力的な選書ができるかどうか十分検討していただきたい。そして、導入結果についても公表し、検証を進めていただきたい。
【 会 長 】	電子図書館に関して、視覚障がい者の方にもメリットがあるという説明があったと思うが具体的に説明をお願いしたい。
【 事 務 局 】	コンテンツによっては、音声読み上げに対応していたり、拡大機能なども利用できる点でメリットがある。
【 委 員 】	中高生に関しては、学校の図書室が充実しているので、学校を利用している生徒が多いようだ。静かに勉強ができる自習室などのスペースを中高生は必要としている。中央図書館の3階にも自習スペースがあるが、より使いやすいよう充実していただきたい。
【 事 務 局 】	今後大規模改修を実施する際には、市民の意見も伺いながら自習室のようなスペースもしっかり確保できるようにしたい。
【 会 長 】	中高生が必要としているのは、友達と会話しながら勉強するようなスペースか。
【 委 員 】	友達と会話する場所ではなく、静かに一人で勉強ができるスペースが欲しいと聞く。塾に通えない生徒も増えている中、勉強する場所を確保するのに苦労している子どもも多い。そういった場所を図書館で提供していただくと有難いのではないかと考える。
【 会 長 】	一昔前は、席貸しは図書館の役割ではないという考えもあったが、先ほどのゾーニングの話にもあったが、最近では滞在型図書館のニーズが高まっているので、自習スペースの提供なども図書館の役割としてご検討いただきたい。 電子図書館は令和3年7月に導入予定とのことだが、こういった内容になるのか説明願いたい。
【 事 務 局 】	図書館カードのIDを使用し、図書館のホームページに電子図書館のリンクを貼り、そこからログインして使用していただくことを想定している。
【 会 長 】	ほかの人が借りていた場合は借りられないのか。
【 事 務 局 】	契約形態がいろいろあり、誰でも一度に使えるコンテンツもあれば、1コンテンツ1人しか使えないコンテンツや利用回数で制限されてしまうコンテンツもあるのでそのあたりは今後決定していく。
【 会 長 】	平塚市図書館の図書館カードを持っていれば誰でも利用できるということか。
【 事 務 局 】	そのとおりである。ただし、図書館カードを持っている方のうち、市内在住・在勤・在学者にするなど検討中である。
【 委 員 】	小学校でも音声対応のコンテンツがあれば、読む子どもたちの幅が広がるので大変有難く感じる。
【 委 員 】	VHSの縮小の話があったが、図書館での映像関連の資料の閲覧がどんどんできなくなっていくということか。
【 事 務 局 】	予算のこともあり、現在新しくDVD等の購入はしていないが、CDは寄贈などをしていただき維持している状況である。
(3) 委員提案	
【 会 長 】	ここでは自由に事務局へ提案いただく時間を設けていただいた。何か提案が

	あったらお願いしたい。
【 委 員 】	移動図書館サービスの廃止の方針が決定したが、予約資料を受け取るサービスについては、駅前だけでなく公民館等地域の施設での受取も視野にいれていただきたい。読み聞かせのボランティアとして長年活動しているが、ボランティアは自分の持っている本を使うというよりは図書館で本を借りて読み聞かせている方がほとんどだ。ボランティアの人員確保も難しい中、移動図書館がなくなると図書館を使えなくなる方もいると思う。そうするとどんどんボランティアをやる方も減ってしまうと懸念している。そういった意味からも、図書館の本を受け取ることができる場所を増やしていただきたい。現在15冊貸出ができるが、例えば各公民館での貸出は7冊にするなど、通常の図書館運営に支障がない範囲で運用を検討していただければと思う。
【 事 務 局 】	移動図書館については、すぐに廃止するというのではなく、公民館などの地域の施設の状況なども確認し、地域の読書環境をしっかりと整備することをまず行いたい。
【 委 員 】	金目地区では現在移動図書館のステーションがあるので、低学年を中心とした子どもたちも地域の方もとても楽しみに利用している。事務局の方からは、地域の読書環境を整えてから移動図書館サービスを廃止すると毎回説明していただいているので有難く感じているが、地域には、公民館、学童や病院等色々な施設があるので、様々な方法を考慮し地域内の読書環境を整備していただければと考える。
【 事 務 局 】	昨年の緊急事態宣言で図書館が休館した際には、学童に対し本を貸出し好評だった。様々な視点から読書環境を整えていきたいと考える。
【 委 員 】	提案ではないが、本日「読書ネット通信 LINK (リンク)」を委員へお配りした。図書ボランティアとの繋がりをもつために毎年平塚市子ども読書活動ネットワーク運営委員会が年2回発行している。本年度からコンパクトサイズにしてみた。コロナで活動ができない中、何を発信していけば良いか図書館と相談しながら作成したのでご覧いただきたい。
【 会 長 】	様々な活動が制限されていた中でも力を注いで発行していただき、素晴らしいと思う。
【 委 員 】	サイズも手に取りやすく、また中も見やすくとても良いと思う。
【 会 長 】	本日東海大学新聞と「平塚を旅する本」の冊子をお配りしたが、この冊子は、春学期に開講した司書課程科目「図書館概論」と「情報資源組織演習A」を受講した学生たちが、湘南キャンパスのある平塚市をはじめとした湘南地域、同市と友好都市協定を締結する岐阜県高山市、岩手県花巻市、静岡県伊豆市、姉妹都市のアメリカカンザス州ローレンス市、東京オリンピックの際に同市でキャンプを張るリトアニアに関する本を紹介したものである。一人15冊合計約1,000冊の中から図書館の方が選び冊子にいただいた。同時に企画展示も実施していただき、平塚市図書館のお力添えに感謝する。 もう一つ、「ナクソス・ミュージック・ライブラリー」のサービスの資料もお配りしたが、こちらは図書館が契約すると利用者が自由にクラシックを中心とした音楽を聴けるというサービスである。2021年3月24日現在、さいたま市図書館、千代田区立図書館、江東区立図書館、和光市図書館、武蔵野市立図書館等で導入されている。どのくらいニーズがあるものかはわからないがぜひ導入

をお願いしたいというのではなく、電子図書館のオプション的なものとして紹介させていただいた。

(4) 次期図書館協議会への申し送り事項等(案)

【 会 長 】 今期図書館協議会は、この会議で最後になる。次期の図書館協議会で検討していただきたい内容等をまとめたものが7ページの資料である。一部事務局へのお願い等も含まれているが、次期図書館協議会への申し送りとしてここでまとめた。まだ案の段階なので、追加案件等あったら、資料説明後に伺いたい。

今期図書館協議会では、今後の平塚市図書館運営について検討した。平塚市図書館の運営体制については、平成27年度以降、図書館協議会でも協議し、今後10年間の中央図書館、地区図書館及び移動図書館がどうあるべきかの方向性を示すものとして「これからの平塚市図書館運営のあり方」が策定されることだ。

まず、「これからの平塚市図書館運営のあり方」及び意見書への対応についてだが、令和2年11月19日の第2回図書館協議会の場で、今期図書館協議会委員から提起された意見をまとめ、中央図書館長へ図書館協議会からの意見書として提出した。事務局へのお願いになるが、意見書で提案させていただいた各取組については、今後早期の実施を目指し、引き続き、図書館協議会の場で反映状況の報告等、丁寧に行っていただきたい。また、「これからの平塚市図書館運営のあり方」の中の重点目標、重点取組も計画的な実施をお願いする。

次に、「令和4年度地区図書館3館への指定管理者制度導入に向けた報告」についてだが、令和4年度に地区図書館3館へ指定管理者制度の導入が予定されている。今期図書館協議会でも議事として取り上げ、「地区図書館の指定管理者の公募」に対する意見を提出した。指定管理者制度導入によるメリットは多くある一方、市の考えが伝わりづらい部分がある。こちらも事務局へのお願いになるが、指定管理者制度導入にあたっては、市の考えや中央図書館と地区図書館との協力体制が十分発揮できるように、指定管理者制度移行後の現場把握、評価、指示を怠ることのないよう、進めていただきたいと考える。

最後に、「図書館増収策の検討」についてだが、実施できる施策に限りがあるが、平成28年度は、玄関広告マットや自動販売機を増設するなどの取組、平成30年度には図書館協議会からの提案を受け、図書館キャラクターぶくまるのLINEスタンプの販売を開始していただいた。今後はスポンサー制度、ぶくまるに関連したクラウドファンディングや中央図書館・地区図書館のネーミングライツなどの様々なアイデアを出していただけるよう検討いただきたいと考えている。

以上3つの申し送り事項の他に何か委員からご提案がありましたらお願いしたい。

【 全 委 員 】 異議なし

【 会 長 】 事務局で申し送り事項等としてまとめ、次期図書館協議会の議事にしていただければと思う。

今期図書館協議会の任期は7月いっぱいだが、今回で最後の会議となるので、各委員からひと言ずつお願いしたい。

【 委 員 】	今回平塚市図書館のあり方を検討してきたが、市内図書館が多様な利用者に有効な図書館となるようお願いしたい。小学校では日ごろから調べ学習などの際に平塚市図書館の本を利用させていただいているが、今後も学校でもさらに専門的な図書に関する支援を公共図書館へお願いできれば有難いとする。市内の様々な施設がつながって連携しながら平塚市図書館、学校図書館が充実できるよう進めていただきたい。
【 委 員 】	現在平塚駅から遠い地区で勤務しているが、図書館から遠いこともあり、子どもたちにとってなかなか図書館が身近な存在ではないのが現状である。本が好きな子は学校の図書室で本を借りたりしているが、先ほどの自習室の話にもあるが、現在学校は放課後子どもたちが残って勉強するのが難しい状況となっている。塾に通っていない子どもたちは勉強できるスペースを必要としており、図書館に自習室があれば図書館を身近に感じてもらえるきっかけともなるので検討していただければと考える。
【 委 員 】	3期6年務めたが、図書館協議会で検討した内容は、今後も地域の図書活動に活かしていけたらと思う。世の中の状況が一変し、果たしてこれが以前の状況に戻るのか不安な面があるが、このような状況だからこそ、前向きに柔軟な発想で、市民に愛される図書館を目指していただきたい。
【 委 員 】	子どもと学校と絵本が好きで、長年図書ボランティアとして図書館とかかわって過ごしてきたが、今回市民公募で参加したが、大変有意義な機会であった。いろいろな意見や提案に対し、事務局で真摯に対応していただき、平塚市にさらに愛着をもつこともできたので感謝する。
【 副 会 長 】	「これからの平塚市図書館運営のあり方」へのパブリックコメントに対し、市民から多数意見が寄せられたとの報告を受け、公共図書館の必要性と役割を改めて認識できたと思う。平塚市図書館は、県内でも着実に市民の要望に応じていると個人的にも考えていたので、平塚市の図書館運営へ意見を言える立場として、少しでも平塚市図書館の運営を応援することができたとしたら、委員としての役目を果たせたかと思う。
【 会 長 】	コロナ禍で通常の活動も儘ならない中、様々な工夫をし図書館運営を進めていただき、また図書館協議会からの意見に対し丁寧にご対応いただき感謝する。委員それぞれの見地から多々ご提案をいただけたと思う。宿題もたくさん出されたかたちで次期へ引き継ぐことになるが、「自慢できるお役立ち図書館」を目指して今後とも図書館運営を推進していただけたらと考える。
閉 会	
【 事 務 局 】	今期図書館協議会では、「平塚市図書館のあり方への意見書」や「地区図書館の指定管理者制度の概要」への意見のご提出等、多大なご協力を賜り感謝申し上げます。今会議をもって、今期最後の会議となるが、任期は令和3年7月31日までとなるので引き続きよろしくをお願いしたい。